

試合番号 : 231	試合会場 : 松本市総合体育館	観客数 : 990	
開始時間 : 14:00	終了時間 : 16:28	試合時間 : 02:28	
主審 : 澤 達大	副審 : 来川 知裕		
VC長野トライデンツ	通算 1勝 26敗 ポイント : 7	東レアローズ	通算 18勝 9敗 ポイント : 47
監督コメント	2	3	VC長野のホームゲームでしたが、最高の環境の中で試合ができました。準備していただいた皆さんありがとうございました。なかなかチームとして試合は序盤にVC長野の軟打を落とすことができず、なかなかチームとしてリズムが作れなかったが、その中でもチームがバラバラにならずに戦えたことが勝利につながったと思います。修正するところは多いですが、明日もしっかり勝利できるように準備して参ります。本日も、たくさんの応援ありがとうございました。
要約レポート	VC長野トライデンツが、東レアローズを長野県松本市に迎えての一戦。第1セット、両チームともに様子を伺うようなスタート。トスを振り分けるVC長野・下川と、パダルにボールを集める東し真子。一進一退の展開が中盤まで続く。終盤、VC長野はアラウジョ、工藤のアウトで点差を広げ、そのままこのセットを25・20で押し切った。第2セット、試合の行方を予測することが難しい展開。終盤、東しは4点ビハインドから高橋のブロックなどで5連続得点し、追いつがるVC長野を27・25で振り切った。第3セットも中盤までもつれるが、終盤、東しは上條、富田、パダルの攻撃で畳みかけてVC長野を突き放し、セットを連取した。第4セット序盤、VC長野はセッター下川が積極的に速攻を使い、三輪、波佐間が応える。一方東しはオボジツのパダルが要所で決める。最後は工藤のサービスエースでこのセットをVC長野がとり、フルセットにもつれ込んだ。第5セット、東しはパダルにボールを集め着実に得点を重ねる。VC長野はパダルの勢いを止めることができず、東しが15・9でこのセットを取り、勝利を決めた。		

試合番号 : 232	試合会場 : 岡崎中央総合公園総合体育館	観客数 : 2,650	
開始時間 : 13:05	終了時間 : 15:01	試合時間 : 01:56	
主審 : 原 啓之	副審 : 中口 岳		
ジェイテクトSTINGS	通算 15勝 12敗 ポイント : 49	サントリーサンバーズ	通算 21勝 6敗 ポイント : 59
監督コメント	1	3	本日もサントリーサンバーズへのご声援ありがとうございました。ジェイテクトSTINGSの強いサーブ、粘り強いディフェンスに何度も追いつめられるシーンがありました。しかし、サントリーサンバーズも武器であるサーブ、ブロック、高い攻撃力を発揮できたことが勝因だと思います。サントリーでもプレーしたことがある選手が相手側でプレーしていることに、バレー界は前に進んでいると感じています。バレー界がさらに発展してくれることを心から祈っています。明日もタフな試合になることは間違いないと思います。いい準備をして明日を迎えたいです。我々は"PLAYHARD"のスローガンのもと、1試合ずつ成長しながら進んでいきます。アウェイですが、素晴らしい環境で試合を行えました。ありがとうございました。
要約レポート	前回2日間ともフルセットの熱戦を繰り広げたサントリーサンバーズとジェイテクトSTINGSの試合。第1セット、アラインの攻撃や、小野のサービスエースで連続得点を取ったサントリーだったが、中盤に開田のサーブを起点に連続得点で盛り返したジェイテクトが勢いに乗り、セットを先取した。第2セット、サントリー・アラインのサービスエース3本に加え、藤中(謙)の攻撃や大宅のブロックで得点を重ねたサントリーがセットを取り返す。第3セット、序盤はウルナルトの攻撃や都築のサービスエースでジェイテクトがリードする。両チームの好プレーが続く中、サントリーは中盤の長いラリーを影がブロックし、同点に追いつくと、小野の攻撃などでジェイテクトを引き離し、セットを連取した。第4セット、序盤から影やアラインの攻撃でサントリーが流れを掴む。中盤にムセルスキーのブロックに阻まれたジェイテクトは、ウルナルトや柳田の攻撃で反撃を試みるも流れを引き戻せず、セットカウント3・1でサントリーが勝利を取った。		

試合番号 : 233	試合会場 : 大浜だいしんアリーナ (堺市立大浜体育館)	観客数 : 890	
開始時間 : 13:00	終了時間 : 15:26	試合時間 : 02:26	
主審 : 國頭 亮太	副審 : 村中 伸		
堺ブレイザーズ	通算 19勝 8敗 ポイント : 58	ウルフドッグス名古屋	通算 21勝 6敗 ポイント : 59
監督コメント	2	3	生まれ変わった大浜だいしんアリーナでバレーボールトップリーグの試合を行うことができ、本当に嬉しく思います。また、会場に足を運んでいただいた皆様、本日はありがとうございました。試合の中で苦しい場面が多々ありましたが、その中でも我々の目指すバレーボールをプレーすることはできたと思います。今、我々ウルフドッグス名古屋に必要なことは自分たちのパフォーマンスを高いレベルで安定的に出すことです。残りの試合で少しでも自分たちのパフォーマンスを上げられるようにチャレンジしていきます。いつも応援して下さいありがとうございます。どんなにアウェイであっても一人の応援がある限り、最後まで戦い抜きます。明日もお会いしましょう。Here and Now... To Be Better Tomorrow
要約レポート	堺ブレイザーズがレギュラウンド1位のウルフドッグス名古屋をホームに迎えての一戦は、フルセットの大接戦となった。第1セットから接戦を繰り広げ後半まで一進一退の攻防が続く。パノンの攻撃、松本のブロックを起点に相手のミスも重なり堺が抜け出す。追いつきたいWD名古屋は王のサーブで相手を崩してデュースに持ち込むも、堺・出来田が要所で得点を重ね27・25でセットを先取る。第2セットも堺の勢いは止まらず先取るが、中盤にクレク、高梨が3連続得点を挙げ点差を縮める。22・22で迎えた終盤に堺パノンが攻撃を立て続けに決めてセットを連取する。第3セット序盤から勢いのある堺がリードする。後の無くなったWD名古屋は、中盤に高梨がサーブで守備を崩し、このセットで初めて逆転する。山崎の攻守に渡る活躍により、セットを奪い返す。続く第4セットは、王、山崎の緩急つけたサーブで守備を崩し、WD名古屋が主導権を握ると堺の多彩な攻撃にも対応し、25・17と点差を付けセットを連取しフルセットへ。最終セットでは、互いに攻撃の応酬で接戦となったが、堺は失った流れを取り戻すことができないまま、クレクを軸に攻撃を展開したWD名古屋がフルセットの激闘の末、大逆転勝利を取った。		

試合番号 : 234	試合会場 : 岩国市総合体育館	観客数 : 1,500	
開始時間 : 14:00	終了時間 : 15:29	試合時間 : 01:29	
主審 : 林 淳一	副審 : 弘中 秀治		
JTサンダーズ広島	通算 13勝 14敗 ポイント : 41	パナソニックパンサーズ	通算 17勝 10敗 ポイント : 54
監督コメント	0	3	良い試合で、大事な勝利でした。JT広島は攻撃力がある選手が多数いるのでタフな試合になると予想していましたが、私たちは良いプレーを続けました。明日も大事な試合があるので、勝つために頑張ります。応援よろしくお願いします。
要約レポート	JTサンダーズ広島が、パナソニックパンサーズをホームに迎えての一戦。第1セット、序盤JT広島が、ラッセルの力強いスパイクで得点を重ねた。対するパナソニックは、大塚のスパイク、山内の速攻で応戦した。中盤は競り合うも、最後はパナソニックが西山のスパイクでセットを先取した。第2セット、パナソニックは清水やエバデダンのスパイク、JT広島はラッセルのスパイクや、金子のサービスエースなどで終盤まで一進一退の攻防が続く接戦となった。最後はクビアクのブロックでパナソニックがセットを連取した。第3セット、序盤からパナソニックが大きくリードを広げた。後がなくなったJT広島は、セッターを合田に代えて巻き返しを図り、レシーブで繋ぎ、江の鋭いスパイクや新井の巧みなスパイクで粘りを見せたが、終盤にミスが続き、パナソニックがストレートで勝利した。		

試合番号 : 235		試合会場 : サイクルショップコダマ大洲アリーナ (大分市大洲総合体育館)				観客数 : 610	
開始時間 : 14:00		終了時間 : 16:00		試合時間 : 02:00		主審 : 城 智人	
副審 : 平田 敬基		通算		3勝 24敗		通算	
大分三好ヴァイセアドラー		ポイント : 9		24 第1セット 26		東京グレートベアーズ	
監督コメント デュースの展開を取り切れず、苦しい試合になってしまいました。セット序盤は我々のサーブレーブが安定して、攻撃を仕掛けることができましたが、東京グレートベアーズの強いサーブを要所で返すことができず、崩されることが増えたのがこのような展開になった原因だと思います。大分でのホームゲームも残り3戦です。残りの試合では大分のみなさんに勝利を見せられるように頑張ります。		1		25 第2セット 19		3	
				24 第3セット 26			
				16 第4セット 25			
				第5セット			
要約レポート 先日、同一カードでの対戦で悔しい連敗を屈し、ホームでリベンジを誓う現在9位の大分三好ヴァイセアドラーと8位の東京グレートベアーズの一戦。第1セット序盤、大分三好はモゲニ、山田、小野を中心に、対する東京GBはアラウジョを軸として、拮抗した試合展開となった。東京GBはリベロ古賀を中心とした粘り強い守りから着実に得点を重ねるが、後半アラウジョがアクシデントによりベンチに退く。エースを欠いた東京GBであったが、チームが一致団結となり最後は山田の強烈なジャンプサーブが決まり、第1セットを先取する。第2セット、大分三好は山田の強烈なサーブにより相手守備陣を崩し、自らのバックアタック、モゲニのブロック等で連続得点と大きく引き離す。東京GBは戸崎を投入し巻き返すを図るも、攻撃力で上回った大分三好がセットを奪い返す。第3セットは第1セット同様、拮抗した試合展開となり序盤でライン判定、ブロックタッチなどのチャレンジが両チームで3回出るなどミリ単位の攻防が終盤まで続く。大分三好はモゲニの気迫の籠った強烈なバックアタックが決まり同点に追いつくが、またしても粘り強い守備を見せた東京GBがセットを奪い返す。第4セット、勢いそのままに東京GBがアラウジョのサーブにより、相手守備を崩して序盤から突き放す。大分三好は途中出場のカンタパットが奮起し応戦するも、着実に得点を重ねる東京GBになかなか追いつけない。このセットも驚異的な守りから確実な切り返しで得点に結びつけた東京GBが、セットカウント3-1で大分三好を退けた。		監督コメント 本日のゲームでは、大分三好のサーブとブロックによって非常に苦しい展開となりました。しかし、途中出場の選手たちのパフォーマンスで流れをつかみ、勝利することができました。明日も厳しい試合になることが予想されますが、勝利を目指し準備をします。本日も応援ありがとうございました。					

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
副審 :		通算		-勝 -敗		通算	
ポイント :		-		第1セット		ポイント :	
監督コメント				第2セット		監督コメント	
				第3セット			
				第4セット			
				第5セット			
要約レポート							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
副審 :		通算		-勝 -敗		通算	
ポイント :		-		第1セット		ポイント :	
監督コメント				第2セット		監督コメント	
				第3セット			
				第4セット			
				第5セット			
要約レポート							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
副審 :		通算		-勝 -敗		通算	
ポイント :		-		第1セット		ポイント :	
監督コメント				第2セット		監督コメント	
				第3セット			
				第4セット			
				第5セット			
要約レポート							